

A

10/1 ソロモン王

しゅのたたかいだからである。
れきだいしげ 20・15



ちから

おかね

たからもの

ちえ

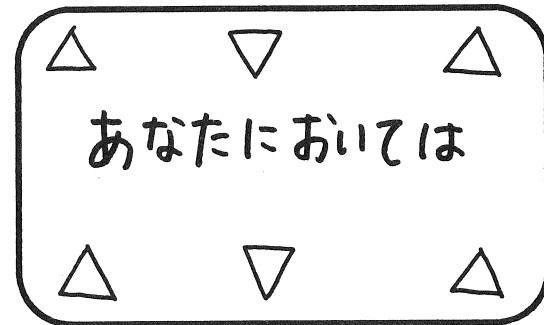
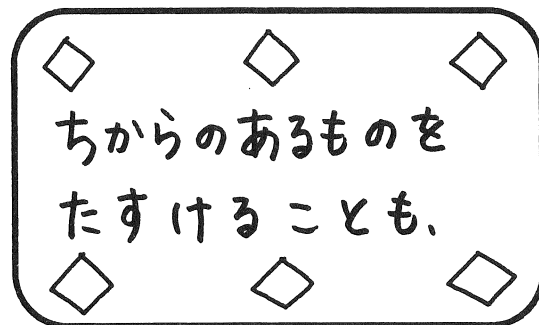
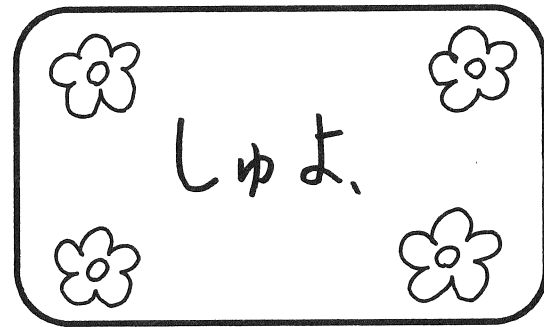
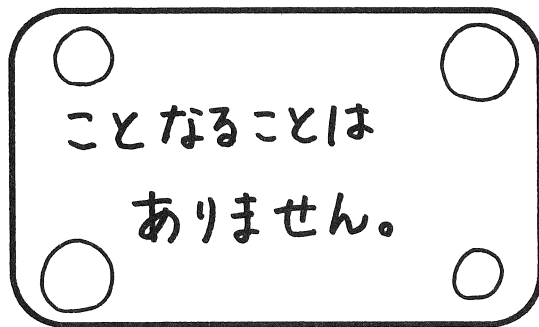
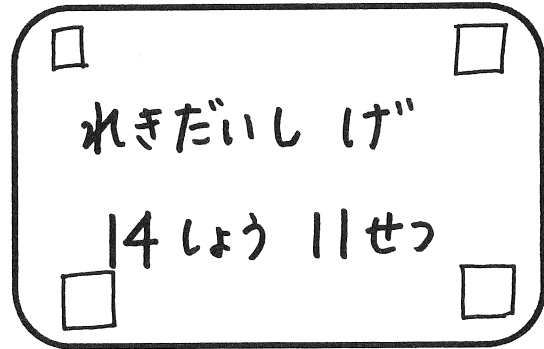
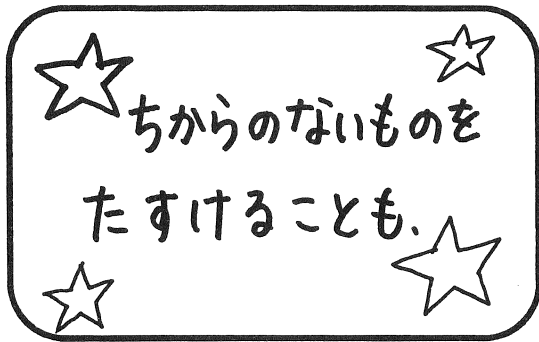
① に入るものを 4つのうちから選り、切り取ってはりつける。

② ソロモン王に色をぬる。

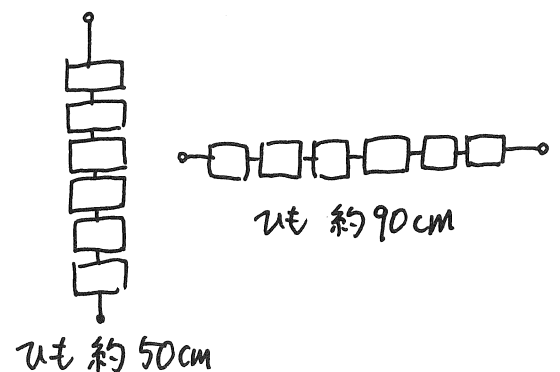
—— 切り取り線

A 10/8 アサ王

しゅのたたかいだからである。
れきだいしげ 20・15



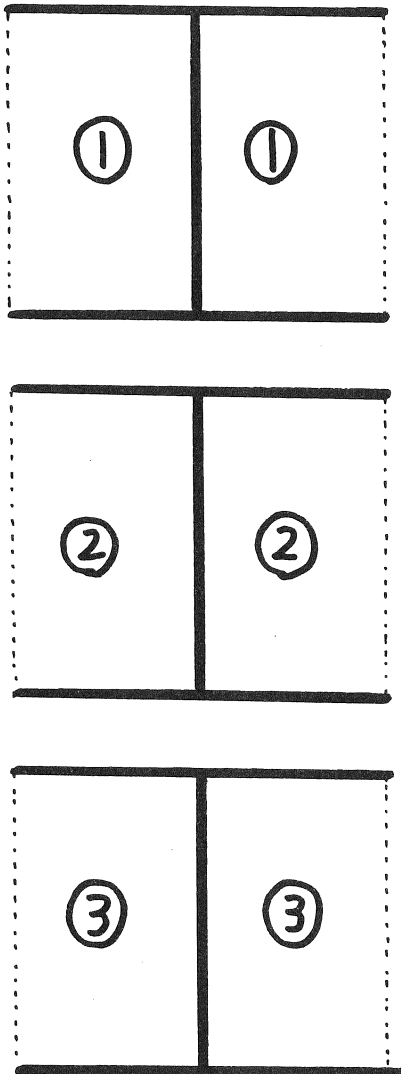
- ① カードに色をぬり、切り取る。
- ② カードを → → → → → の順番に並べる。
- ③ 順番どおりに、ひもにセロテープでカードをはる。
- ④ 見えるようにカードをはて、みことばを覚えよう。



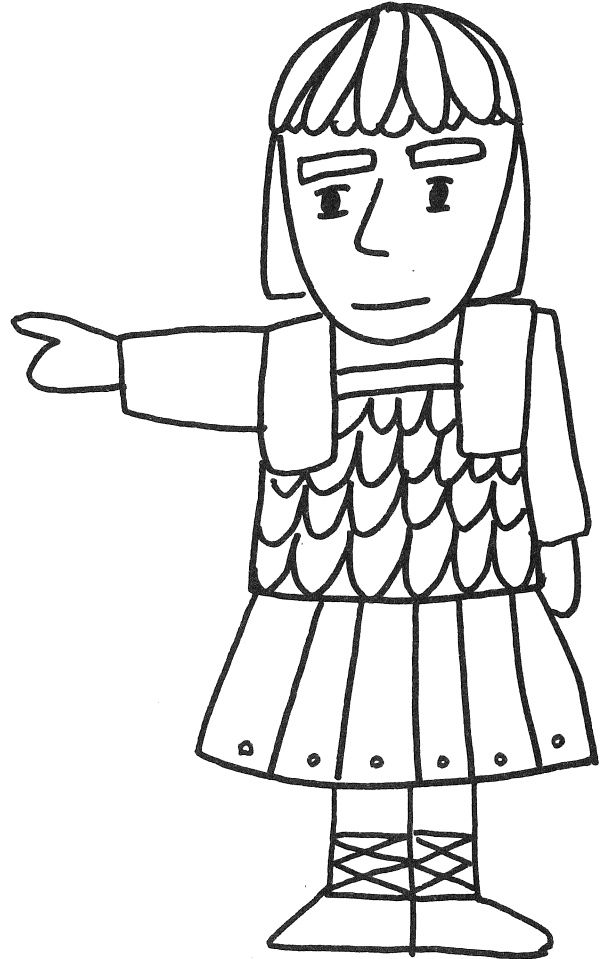
A 10/15 ヨシャパテ王

しゅのたたかいだからである。
れきだいしげ 20・15

A



しょうりのひけつ



B

①

おいのりする

②

れいはいする

③

さんびする

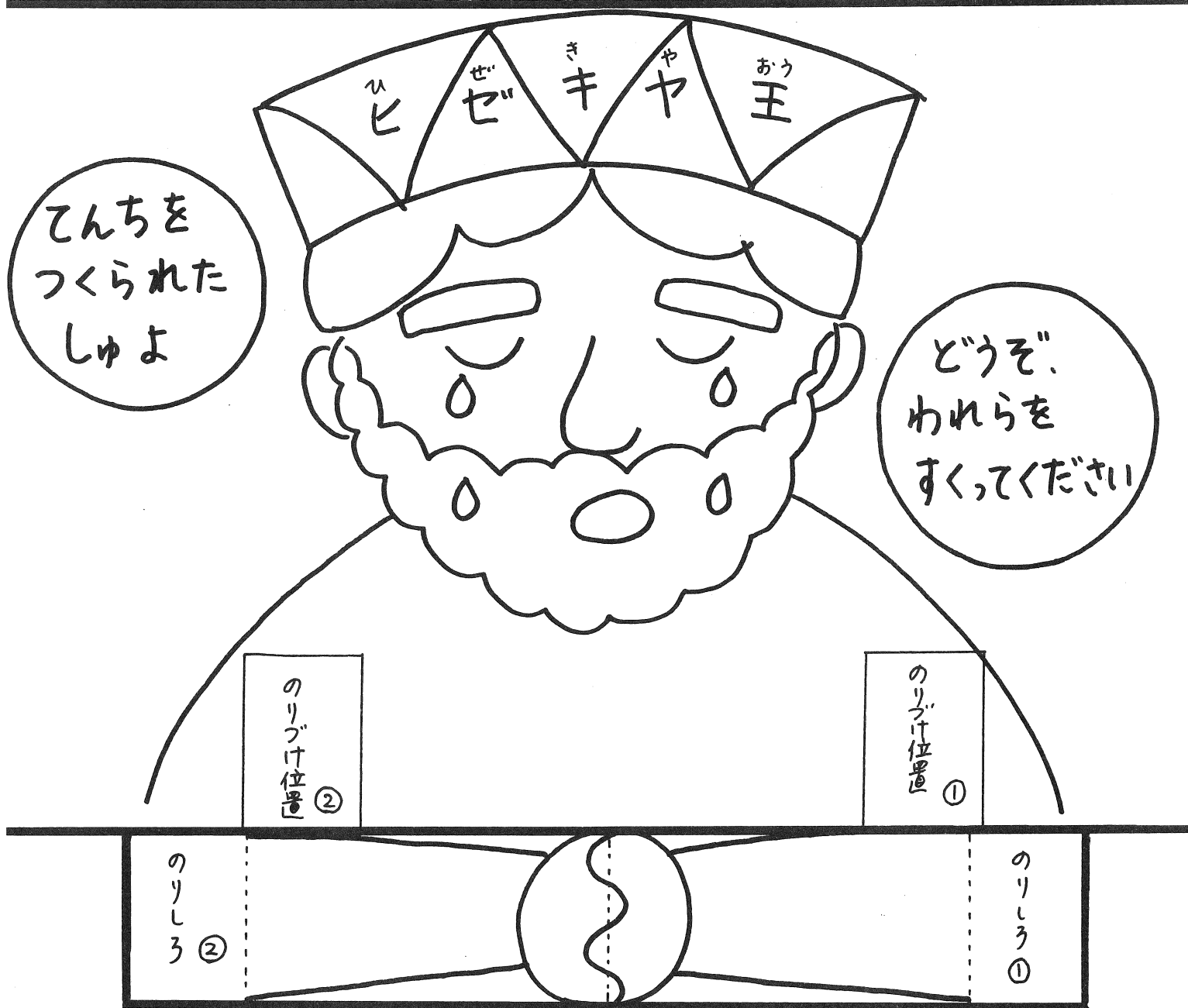
- ① A.Bを切り取る
- ② Aの窓の部分を切る(先生にってもらいましょう)
- ③ Bをそれぞれの窓の裏側にセロテープでとめる
- ④ 窓を開け閉めしながら、勝利の秘訣を確認しよう。



—— 切り取り線
----- 谷折り線

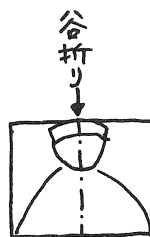
A 10/22 ヒゼキヤ王

しゅのたたかいだからである。
れきだいしげ 20・15



① カードと手に色をぬり、切り取る。

② カードを図のように表を中にして2つに折り、ひらく。



—— 切り取り線

----- 山折り線

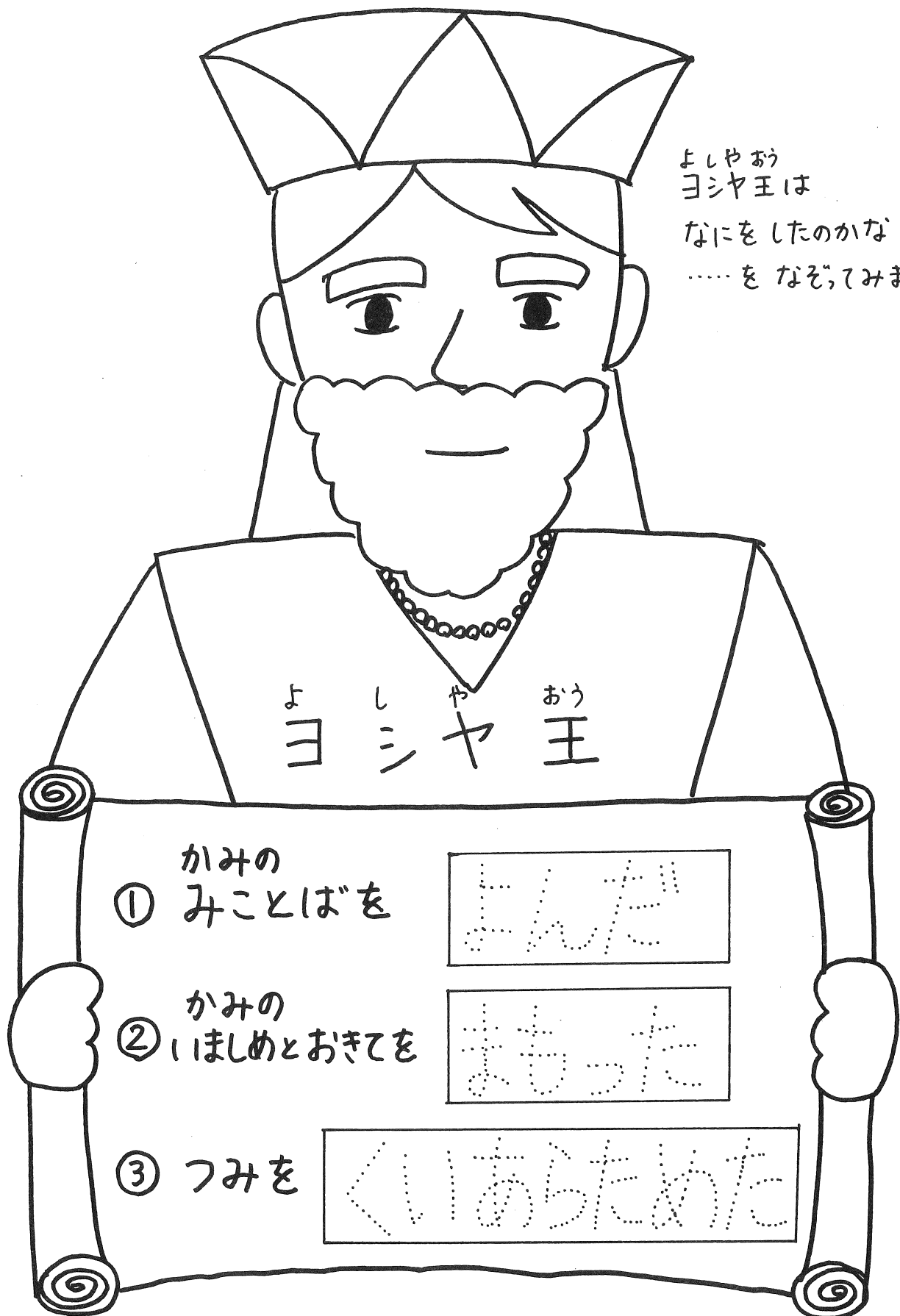
③ 手を右図のように折り、のりしろにのりをつけて、カードののりづけ位置にはる。



④ でき上り

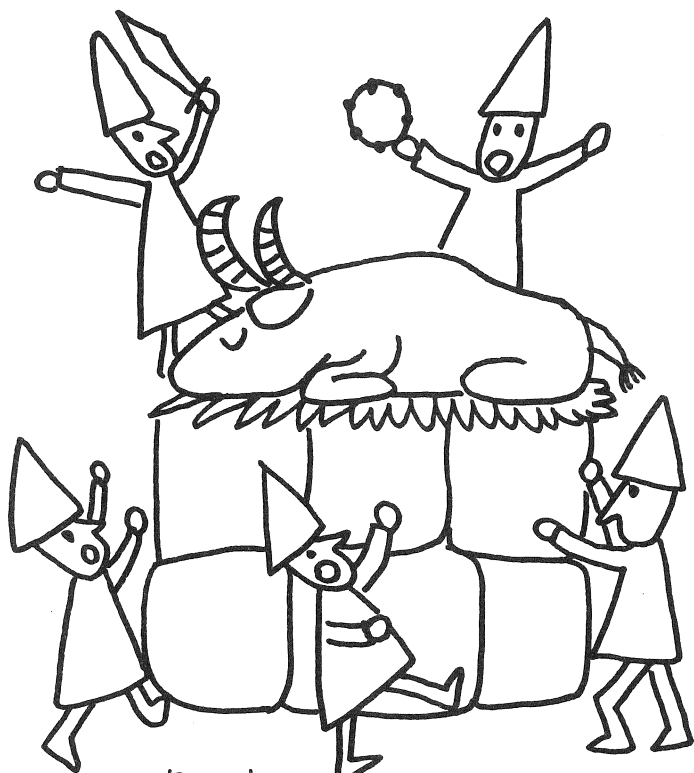


しゅのたたかいだからである。
れきだいしげ 20・15



ひをもってこたえるかみを
かみとしましょう。
れつおうきじょう18・24

A



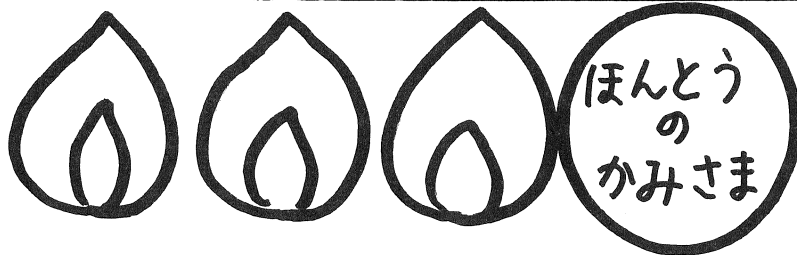
ばあ

ある
バアルのかみ



えりや

エリヤのかみ



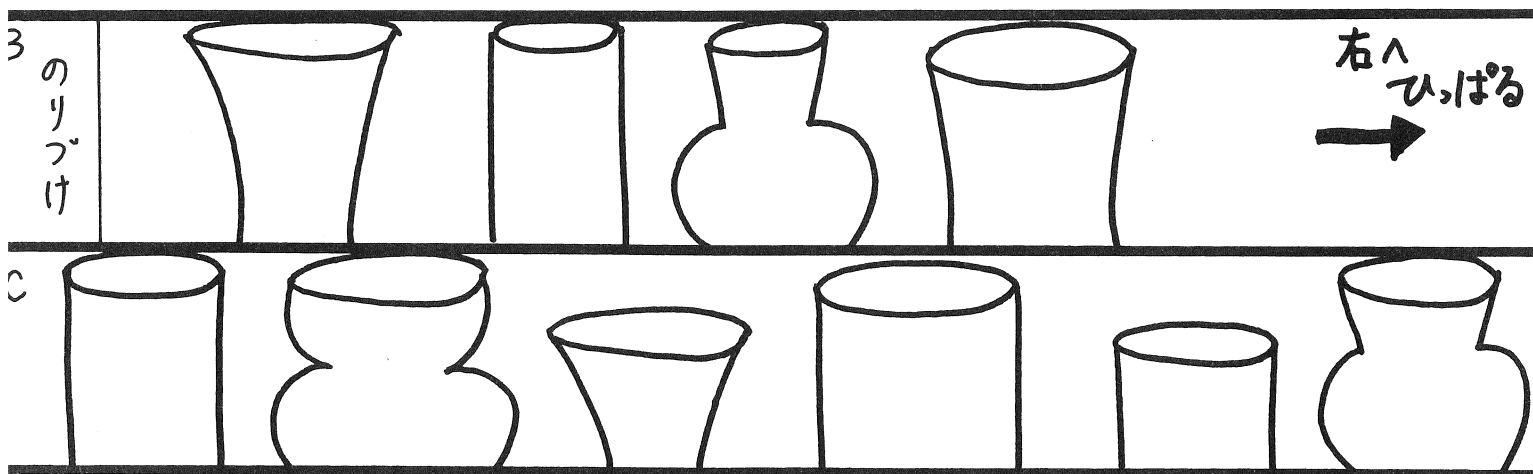
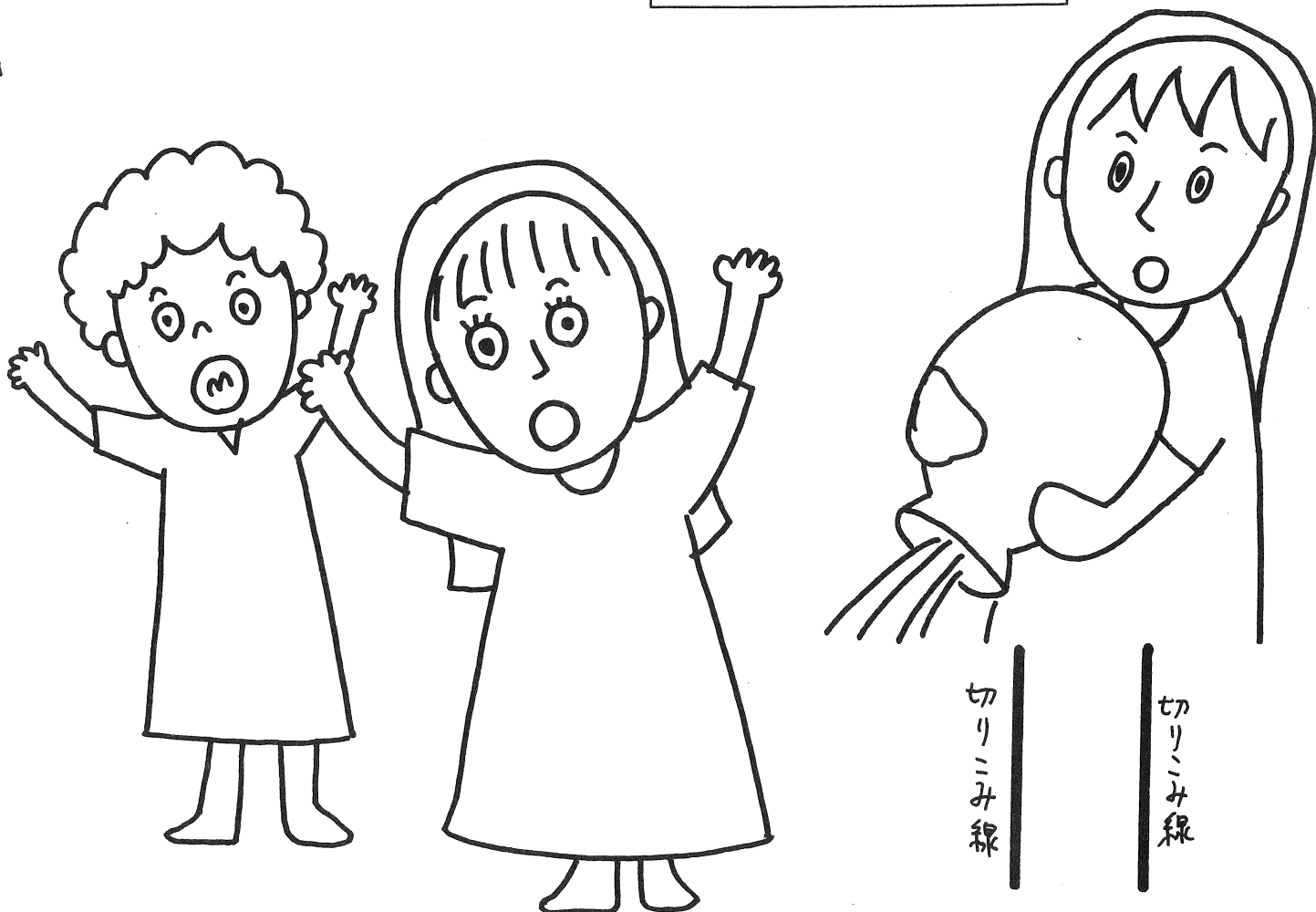
—— 切り取り線

- ① Aに色をぬり、切り取る。
- ② 火と ほんとうのかみさまに色をぬり、切り取り。火をもて答えた、神さまの糸会の中にはりつける。

A 11/12 エリシャ

ひをもってこたえるかみを
かみとしましょう。
れつおうきじょう 18・24

A



① A・B・C を切り取る

—— 切り取り線

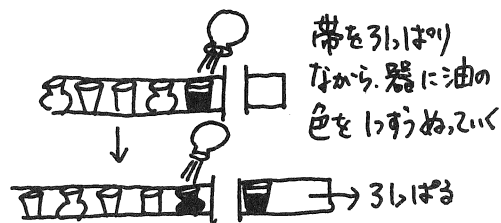
② Bの のりづけ位置にのりをつけ、Cの右端にはり長い帯を貼る。

③ Aの切り込み線を切る

④ 図のように帯を切り込み線にくぐらせる



⑤ 帯を右に引き、はり器の口を油の下に合わせ、器の中に油の色をぬる。1つずつ、全部の器にぬる。



火をもって^{こた}答える^{かみ かみ}神を神としましょう。

列王上 18・24

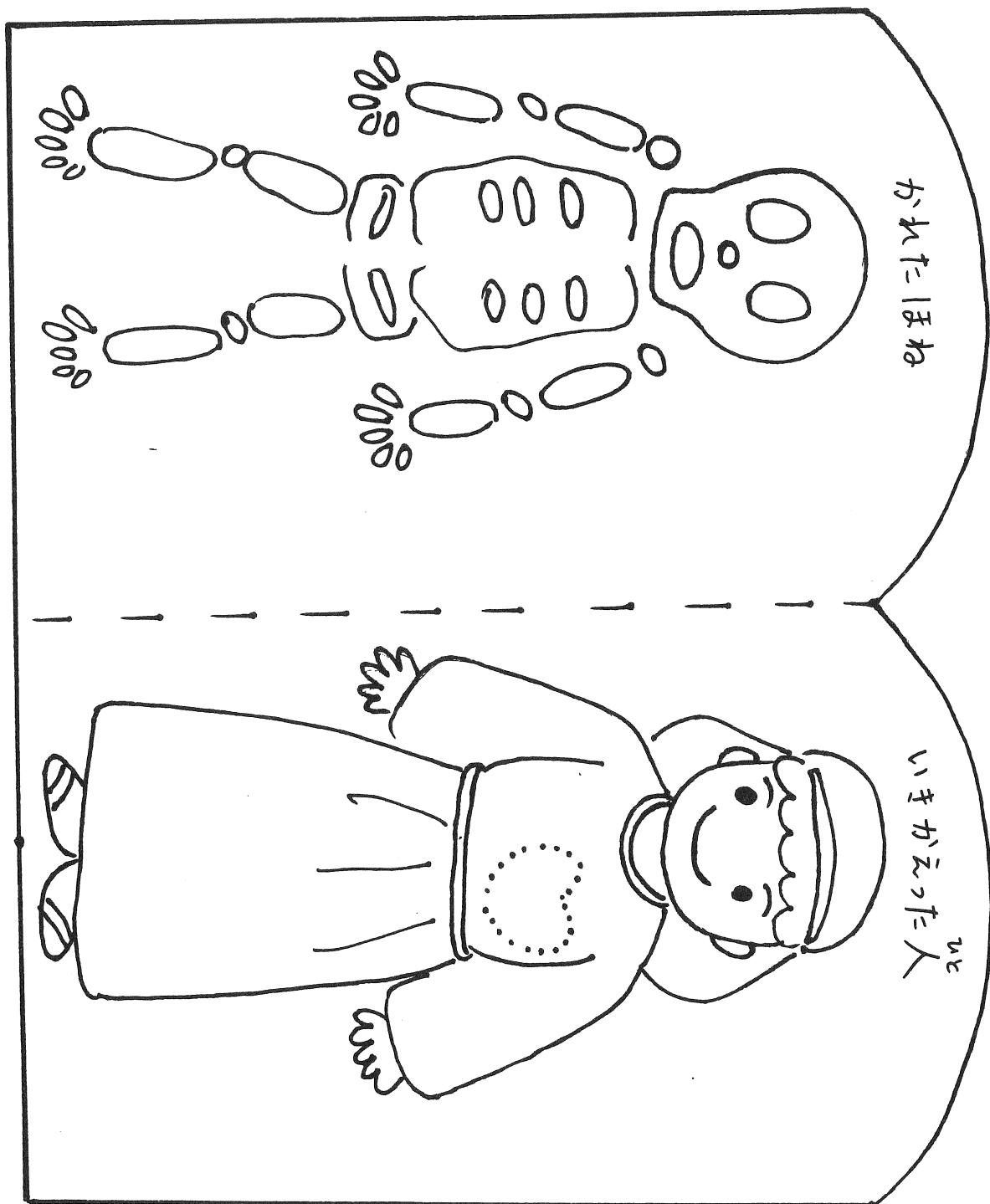
① 色をぬる

② 太線^{ふとせん}をギリギリ半分^{はんぶん}にあて

ペーパースートをつくる

③ ^{いっしょ}をギリギリ

1に1はる



11の5の
11の5の

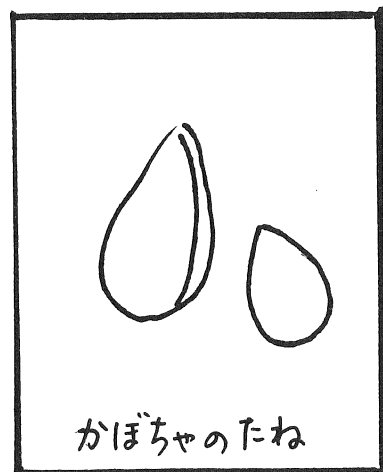
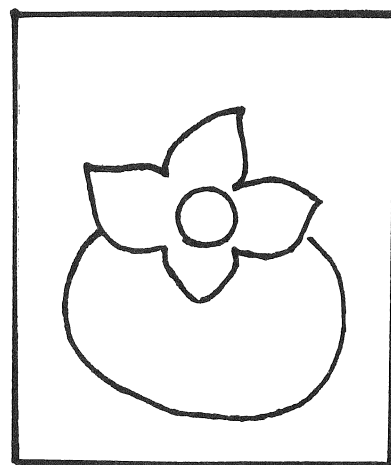
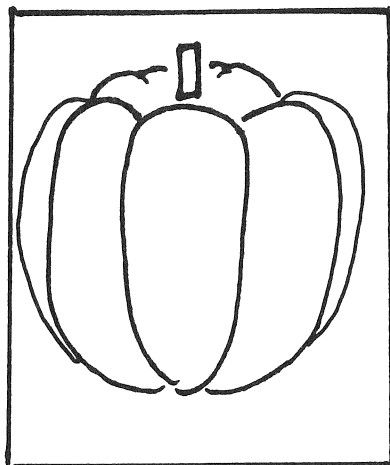
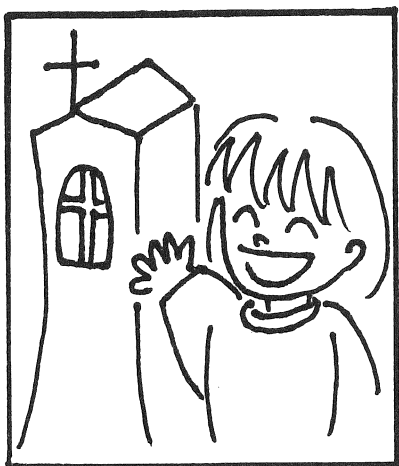
A

11 / 26

よろこ しゅうかく
喜びの収穫

ひをもって^{こた}答える^{かみ}神を^{かみ}神としましょう。

れつおうじょう
列王 上 18・24



かぼちゃのたね



かきのたね



みことばのたね

たね 種まきをしました。どんな^や実がなるかな？ 線であらんでね。

さいごに^{いろ}色をぬりましょう。

A

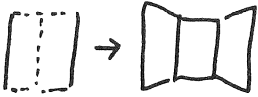
12/3 いのちの光

ひかり

あなたがたのために救主がすくいぬし うまお生れになった。

ルカ2・11

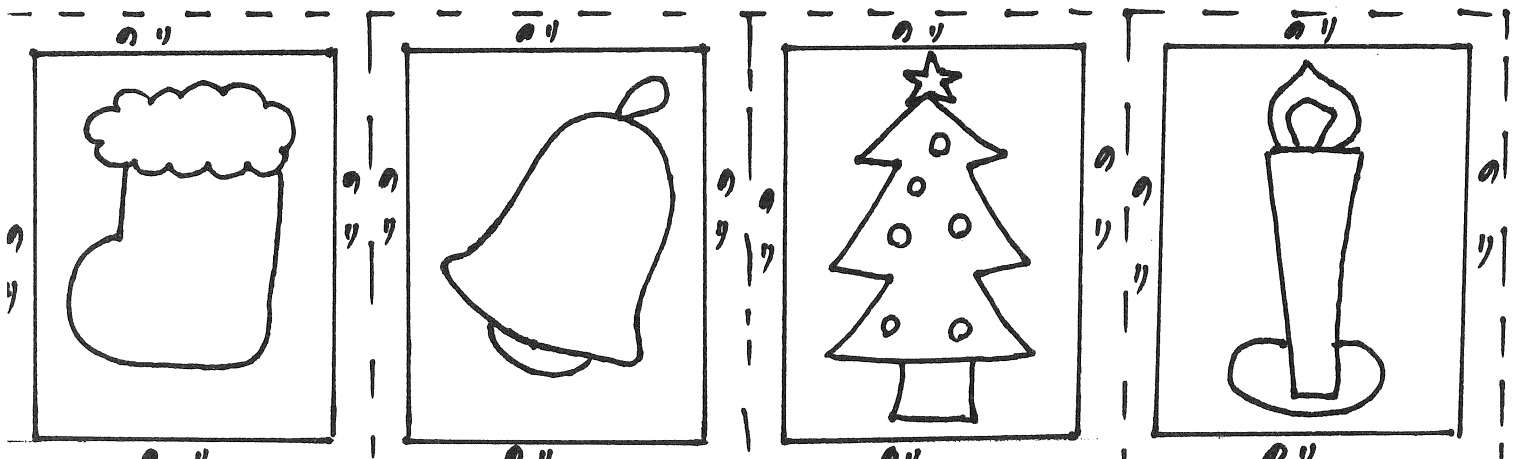
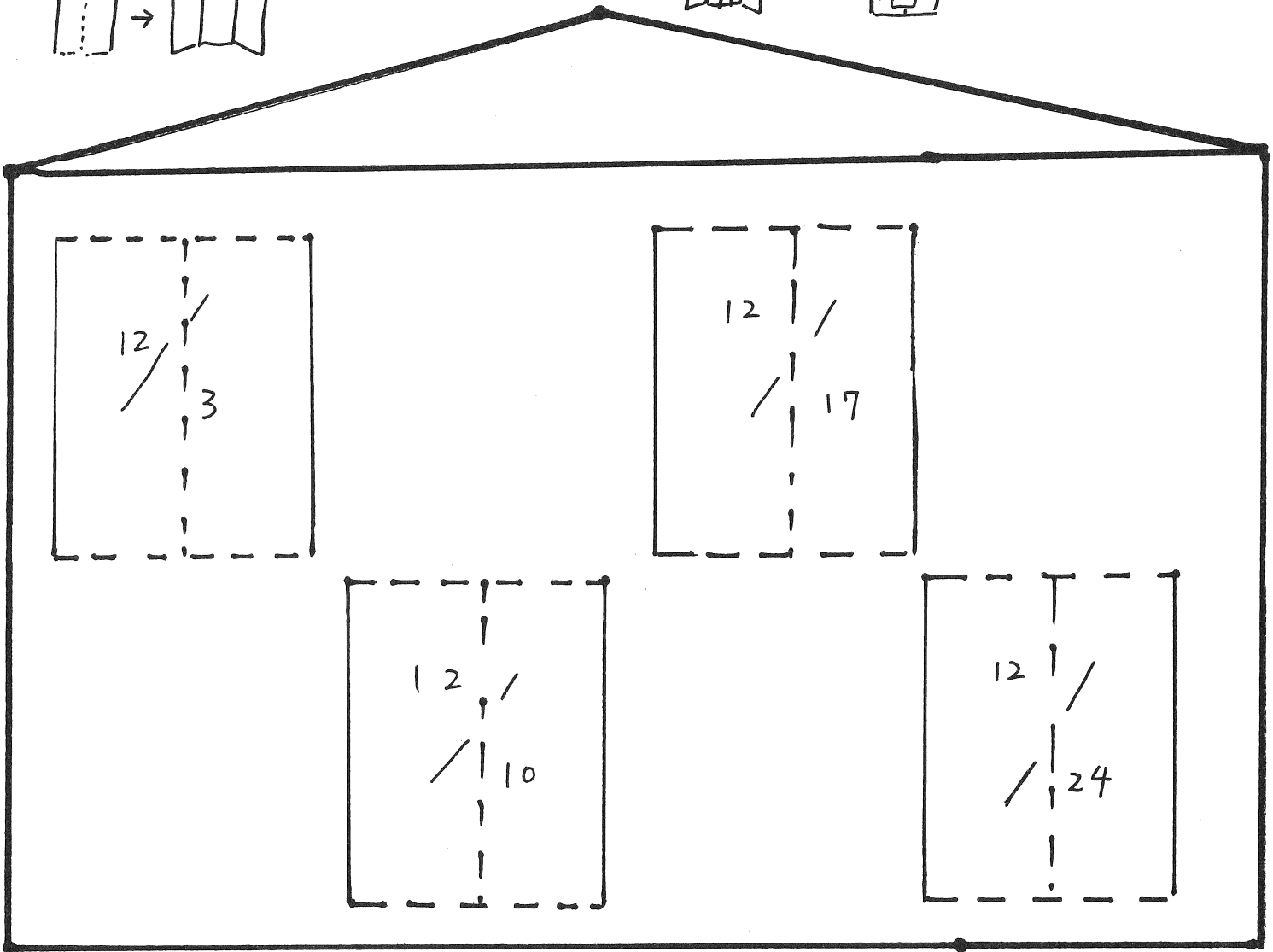
① ^{いえ}家のまじの^{ちせん}点線に
きりにみをいれ、まじが
ひらくようにする



② ^{した}下の絵を^えきり、^{いろ}色をぬる
のりしろにのりをつけ、うらからは
まじから絵がでるようにはる



③ まじをとじてテープなどで
とめておく。



A

12 / 10

かいば 飼葉おけのイエス様

さま

あなたがたのために救主

すくいぬし

がうまお生れになった。

ルカ 2・11

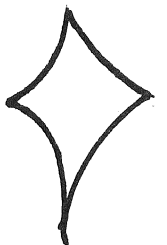
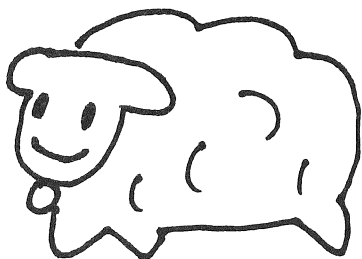
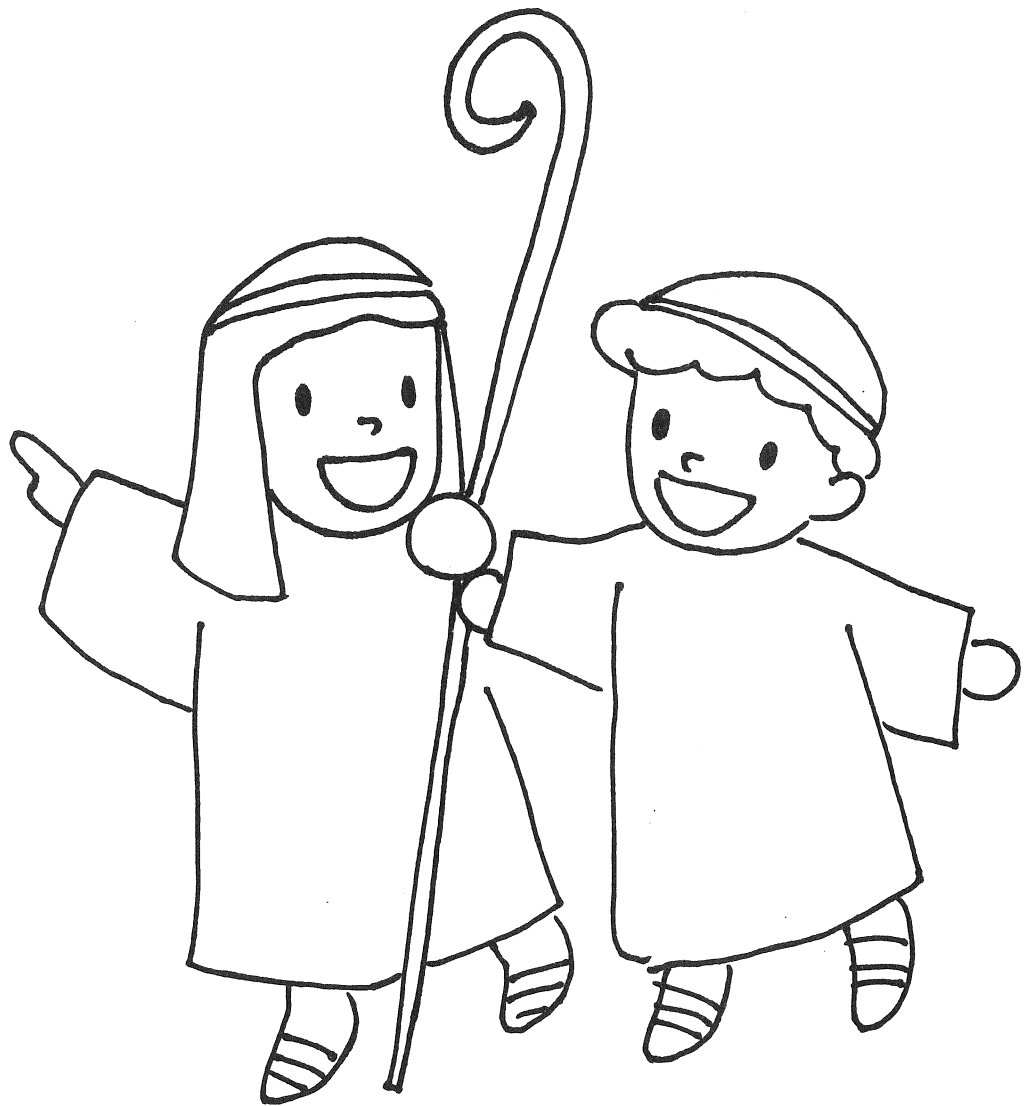
いろ
色をぬり。きりとり パズルにしましょう。



A 12 / 17 ^{ひつじか}羊飼いの^{よろこ}喜び

あなたがたのために救主が^{すくいぬし}お生れに^{うま}なった。
ルカ 2・11

^{いた}下の^え絵をきりとり、あきなところにはりましょう。色もぬってね。



A

はかせ

よろこ

博士たちの喜び

すくいぬし

うま

さま

たさ



もつやく

にやうにやう

おうごん

おかし

ジュース

スタート

A

1 2 / 3 1

かみさま かんしゃ
神様に感謝

あなたがたのために救主が^{すくいぬし}お生れに^{うま}なった。
ルカ 2・11



いちねん あも かみさま かんしゃ え ぶんしょう
この一年を 思いがえて 神様への感謝を 絵や文章で
かきましょう。(かけないお友だちは 先生にかいてもらってね)

ワーク A 解説 10~12月

10/1

●話し方のヒント

ソロモンは、まだ年が若いのにイスラエルの国の王様になりました。王様は国中の多くの人々の困っている問題を聞き、解決しなければなりません。自分の持っている知恵と力では王様として立派な働きができないと思ったソロモンは、神様に「知恵を与えてください」と願いました。願い通りに神様の知恵をいただいたソロモンは、正しく国を治めました。小さい私たちも、「神様の知恵をください」とお祈りするなら、神様は必ず知恵をくださり、助けてくださいます。

●ワークについて

ソロモンが神様に一番に求めたものは何でしょうか。

10/8

●話し方のヒント

アサ王の時代は平和が続いていましたが、エチオピアの軍隊が突然攻めてきました。アサ王の軍隊は58万人なのに、エチオピアの軍隊は倍の百万人もいます。アサ王は、自分たちには力が無くても、神様には小さく弱い軍隊も勝たせる力があることを信じて祈り、戦いました。すると、神様の力によって勝つことができたのです。弱くて小さな私たちも、神様のすばらしい力を信じるなら、神様によって強くなることができます。

●ワークについて

よく見える所にみ言葉をはって覚えましょう。

10/15

●話し方のヒント

ヨシャパテ王の時代、エドムからとても大きな軍隊がユダの国に攻めてきました。ヨシャパテ王と国の人々は恐れましたが、大人も子どもも家族そろって「神様、あなただけを信じます」とお祈りしました。また「この戦いには勝つことができます」との神様の言葉を聞いて、神様を礼拝し、軍隊の前で神様をほめたたえる歌を歌いました。その時、エドムの軍隊に勝利することができたのです。神様を信じて祈り、礼拝し、賛美することによって、私たちはどんな恐ろしい事にも、サタンにも勝利することができます。

●ワークについて

三つの勝利の秘訣を確認しましょう。

10/22

●話し方のヒント

神様を信じるヒゼキヤ王の時代に、多くの国々を次々と倒す強い国アッシリヤが、ユダの国に「戦う前に降参しなさい」と伝えてきました。ヒゼキヤ王は生きておられる神様だけを信じて、「天と地を造られた神様、あなたの耳で私の祈りを聞いてください、あなたの目でこの状況を見てください、そして私たちを救ってください」と祈りました。神様は、私たちが「生きておられる何でもできる神様」を信じて祈る時、大勝利を与えられます。

●ワークについて

悲しい時、苦しい時、困った時、「救ってください」とお祈りすることを覚えましょう。

10/29

●話し方のヒント

神様を信じるヨシヤ王の時代に、神殿の箱の中から一つの書物が見つかりました。そこに記されている神様の言葉によって、ヨシヤ王は、自分やユダの国の人々の行いが、どんなに神様を悲しませていたかに気付きました。王様はこの書物（神の言葉）を人々に読んで聞かせ、神様の戒めとおきてを守って罪を悔い改めるように人々を教え、ユダの国の人々は、神様に喜ばれる人々へと変えられていきました。私たちも、聖書のみ言葉を読み、み言葉に従い、罪を悔い改めて光の子どもとして歩みましょう。

●ワークについて

小さい今も、大人になっても、変わらずに、この三つのことを大切にしていきたいと思います。

11/5

●話し方のヒント

神様のみ言葉を人々に伝えるエリヤは、バアルの神か、エリヤの信じる神様か、どちらが本物が対決することになりました。エリヤは「祭壇に火を下す神を本当の神とする」と提案しました。バアルの神からは、どんなに祈っても叫んでも踊っても答えがありませんでした。しかしエリヤの神様はエリヤの祈りに答えて、水でぬれた牛も、水浸しになった祭壇も、火で燃やし尽くされました。本当の神様は今も生きていて、祈りに答えてくださる神様です。私たちは神ではない偶像を信じるのではなく、本当の神様を信じましょう。

●ワークについて

エリヤの信じる神様は、今も生きていて私たちのお祈りに答えてくださることを伝えましょう。

11/12

●話し方のヒント

エリヤに続いて神様の言葉を伝えたエリシャは、お金がなくて困っている家族を助けたいと思い、神様に祈りました。神様は「できるだけたくさんの器を集めて、その中に家に残っている油を注ぎなさい」と教えてくださいました。エリシャがその言葉を信じて母親に伝え、母親も信じて器に油を注ぎました。すると、いつまでも油はなくなり、持ってきた器はすべて油でいっぱいになり、家族は助かりました。今も生きておられる神様は、困っている人を助けてくださいます。どんな時も、信じて祈りましょう。

●ワークについて

神様は全ての器を一杯にしてくださったことを確認しましょう。

11/19

●お話のヒント

イスラエルの人々は本当の神様に従わなかったため、バビロンの国へ連れて行かれました。みんな希望を失い、死んだような状態でした。でも神様はエゼキエルを通してイスラエルの人々にいのちの息を与え、新しく生きる者にしてくださいました。本当の神様を離れている人間はみんな死んでいる状態です。私たちがイエス様を救い主として信じる時、神様は私たちの内にもいのちの息を与えて、新しく生きる者にしてくださいます。

●ワークについて

あなたも新しく生きる者とされましょう。

11/26

●お話のヒント

柿の種を蒔くと柿の実、リンゴの種を蒔くとリンゴの実。では、神様のみ言葉の種を蒔くと何の実がなりますか。それは、イエス様を信じる人たちが生まれるのです。皆さんも教会のお手紙配りや、家族やお友だちに聖書のお話をしたことがありますか。み言葉の種を蒔いてお祈りしていると、神様が働いてくださるのです。たくさんのお友だちと今年のクリスマスをお祝いできるよう、み言葉の種蒔きをみんなで喜んでみましょう。

●ワークについて

種を蒔くなら実がなることを確認しましょう。

12/3

●お話のヒント

イエス様はすべてのものを造られた本当の神様であり、私たちの心を照らし、罪を示して下さるお方です。このイエス様を救い主として信じる人を神様は新しく生まれ変わらせ、神様の子どもにしてください。その人は天国の希望をもって生きることができます。今日はアドベント第一週、いのちの光として来られたイエス様をあなたの心にお迎えする準備をしましょう。

●ワークについて

アドベント・クランツを作り、クリスマスを待ち望みましょう。

12/10

●お話のヒント

皆さんは、クリスマスの劇をしたことがありますか。ヨセフとマリヤを泊めてくれる宿屋はありませんでしたね。イエス様は家畜小屋で生まれ、飼葉おけの中に寝かされました。神様であられるイエス様が、本当に弱く貧しいお姿でお生まれくださったのです。救い主であるイエス様を追い出すのではなく、感謝してあなたの心にもお迎えしましょう。

●ワークについて

あなたのために飼葉おけの中にお生まれくださった救い主イエス様に心から感謝しましょう。

12/17

●お話のヒント

救い主がお生まれになったニュースを最初に聞いたのは誰^{だれ}でしたか。罪人としてみんなから仲間はずれにされていた羊飼いたちは、救い主が来てくださるのを祈りしながらずっと待っていたのです。御使いから「あなたがたのために救い主がお生れになった」と聞いたとき、どんなにうれしかったことでしょう。あなたのためにもお生まれくださった救い主イエス様を信じる時、羊飼いたちのように大きな喜びをいただくことができます。

●ワークについて

羊飼いたちの喜びを思い、完成させましょう。

12/24

●お話のヒント

不思議な星が博士たちを導き、博士たちは宝物^{きき}を献げて、喜びにあふれて救い主を心から礼拝しました。イエス様はユダヤの国でお生まれになりましたが、世界中の人のための救い主です。神様はあなたをもイエス様のもとへ導いてくださいます。博士たちのように、救い主イエス様を心から礼拝し、すばらしいクリスマスを迎えましょう。

●ワークについて

救い主を訪ねて旅をした博士たちの気持ちを考えてみましょう。

12/31

●お話のヒント

神様のお約束を信じて、救い主が来られるのをずっと待っていたシメオンさんとアンナさんがいました。二人とも年をとっていましたが、救い主イエス様にお会いしたとき、心から神様をほめたたえて感謝しました。この年も最後の日を迎えました。私たちも今年一年の神様のお恵みとお守りを思い返し、心から神様に感謝をおさげしましょう。

●ワークについて

教師も共にこの一年を振り返り、みんなで感謝のお祈りをささげましょう。